



スクールレポート

SCHOOL REPORT 63

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「運動会」のひとこまをご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

神戸小学校「神戸っ子ソーラン」

受け継ぐ心と育つ心！！

特色ある学校づくりの一環として、7年前から始まった「神戸っ子ソーラン」。今や、神戸小の伝統になりつつあります。昨年度末に6年生が5年生へ、5年生が4年生へ引き継ぎをし、本年度に入ってからには体育の表現の分野で学習を進めてきました。

9月14日(土)の運動会では、高学年が学習の成果として、神戸っ子ソーランの集団演技を披露しました。神戸小の伝統を感じながら踊る子どもたちの指先やつま先、体全体から、高学年としての誇りと「神戸小を立派にするぞ、俺たちに任せろ！」「次は俺たちの番だ！がんばるぞ！」という意気込みが伝わってきました。特に6年生の目力には感動し、心が震えました。

こうして、神戸小のよき伝統が受け継がれていきます。今年の4・5年生も、6年生の背中から神戸っ子ソーランを踊る意義を受け継ぎ、ソーランの練習を始めます。受け取った気持ちをどう表現するか、どう受け渡していくか、今から楽しみです。

●真剣なまなざしで踊る高学年



●指の先まで気持ちを込めて



●全員で泉音頭を踊ります



●熱戦を繰り広げた大玉おくり

泉小学校「保小中合同運動会」

泉のみんなが一つになって

9月14日(土)、青空の下、保小中合同運動会が行われました。この運動会は、子どもだけでなく、自治会や老人会も参加する、まさしく「泉のみんなの運動会」です。

「泉音頭」では、和太鼓を中心にいく重にも輪をつくり、みんなで踊りました。「ソーレヤレヤレ ヤットコセ ヤットコヤレソレ」という節回しが独特です。今年は、うちわが配られたり、法被で踊る人が増えたりと、一段と盛り上がりを見せました。

「大玉おくり」では、小中学生と自治会の皆さんで一つのチームを作り、紅白に分かれて競いました。今年からゴム製の大玉に替えました。大人の方が、大玉をタイミング良く押すと、プヨンと10m近くも弾みました。勝負は、1勝1敗からの3回戦も同着の判定で、延長戦へともつれ込みました。

真剣勝負の中にも、笑顔の絶えない、泉のみんなが一つになった運動会でした。